

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和55年5月12日 第6報

植物プランクトン

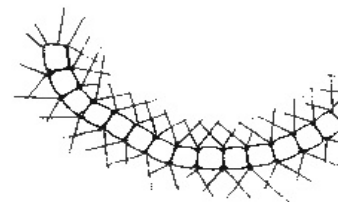
(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	420		
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella</i> sp.	320		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira italica</i>	200		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	680	◎	
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	340		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	60		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	500		◎
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	320		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	○	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	780	21.0	5.7
(珪) 珪藻綱	1340	36.0	22.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	60	1.6	2.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	500	13.4	31.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1040	28.0	37.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	3720	総体積	2.69E+06
種 類 数	17	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Cyclotella glomerata</i>	680
第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

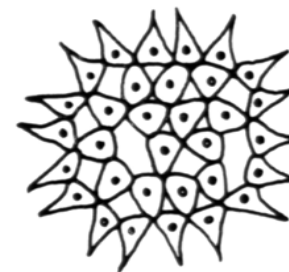
植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 μm と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。